

平成28年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	研究ゼミナールA(Seminar of Study A)	授業コード	P170137
担当教員名	坪倉 篤志	科目ナンバリングコード	P31701
配当学年	3	開講期	前期
必修・選択区分		単位数	2
履修上の注意または履修条件	卒業研究として希望する専門領域の担当教員クラスを履修すること。 演習を伴う授業なので、遅刻・欠席をすると授業についていけなくなります。 主体的に目標に向かって活動できること。□		
受講心得	各自で設定した研究目標に向かって取組めます。課題と出席を欠かさないでください。中間発表会での発表は必須です□		
教科書	必要に応じて教員が資料を指示します。□		
参考文献及び指定図書	必要に応じて教員が資料を指示します。□		
関連科目	CG基礎、CG1、CG2、CG3、Webデザイン基礎、Webデザイン、Webプランニング論、情報デザイン1・2、デジタルコンテンツ論□		

授業の目的	研究ゼミナールは4年次の卒業研究に着手するための準備を行うことを目的とした科目です。卒業研究に着手する上で必要となる専門領域に関するより高度な知識・技術の習得をめざします。 希望調査の後に配属先研究室は決定されます。□
授業の概要	テーマに沿って各自、又はグループで主体的に取り組めます。□

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第1週：ガイダンス 研究ゼミナールAでの目標、卒業研究に向けた計画だてた取り組みについて説明します。その後、今学期の取り組みの目標を立てます。	活動報告書
第2週：発表会 今期取り組むことについて、発表を行います。また発表内容に対してディスカッションを行います。	実施計画
第3週：取り組み① 自身で立てた取り組み計画に沿って、取り組めます。	活動報告書
第4週：取り組み② 自身で立てた取り組み計画に沿って、取り組めます。	活動報告書
第5週：取り組み③ 自身で立てた取り組み計画に沿って、取り組めます。	活動報告書
第6週：取り組み④ 自身で立てた取り組み計画に沿って、取り組めます。	活動報告書

第7週：取り組み⑤ 自身で立てた取り組み計画に沿って、取り組みます。		活動報告書
第8週：取り組み⑥ 自身で立てた取り組み計画に沿って、取り組みます。		活動報告書
第9週：取り組み⑦ 自身で立てた取り組み計画に沿って、取り組みます。		活動報告書
第10週：取り組み⑧ 自身で立てた取り組み計画に沿って、取り組みます。		活動報告書
第11週：取り組み⑨ 自身で立てた取り組み計画に沿って、取り組みます。		活動報告書
第12週：取り組み⑩ 自身で立てた取り組み計画に沿って、取り組みます。		活動報告書
第13週：取り組み⑪ 自身で立てた取り組み計画に沿って、取り組みます。		活動報告書
第14週：発表会 半期かけて取り組んだことについて、研究室内で発表会を行います。		活動報告書
第15週：卒業研究 中間発表に参加 8月に開催される卒業研究 中間発表に参加。諸先輩方の卒研への取り組みに触れ、研究方法などについて学習します。この中で話を聞く、質問する能力を学習し、発表方法についても学習します。		活動報告書
第16週：期末試験		
授業の運営方法	(1)授業の形式	「演習等形式」
	(2)複数担当の場合の方式	
	(3)アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
地域志向科目	カテゴリ III：地域における課題解決に必要な知識を修得する科目	
備考		

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	自身が決めたテーマに向け、卒業研究に向けた基礎能力の学習
【知識・理解】	自身が決めたテーマにおける、基礎的知識の習得
【技能・表現・コミュニケーション】	他学生や先輩方との交流から、話を聞き、質問し、文章にまとめる能力を学習します。また自身で発表し、さらに先輩方の発表から、発表方法についても学習します。
【思考・判断・創造】	テーマに沿った仮説検証に取り組むための、問題解決能力を学習します。

○成績評価基準(合計100点)	合計欄	100点
------------------------	-----	------

到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等 (テスト)	レポート・作品等 (提出物)	発表・その他 (無形成果)
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。		20点	5点
【知識・理解】 ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。		20点	5点
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		20点	5点
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。		20点	5点
<p>(「人間力」について)</p> <p>※以上の観点到、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。</p>			

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安

成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等 (提出物)	レポートの提出、レポートの記載内容
発表・その他 (無形成果)	課題やワークへの取り組み 卒業研究 中間発表や口頭試問などへの参加